

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

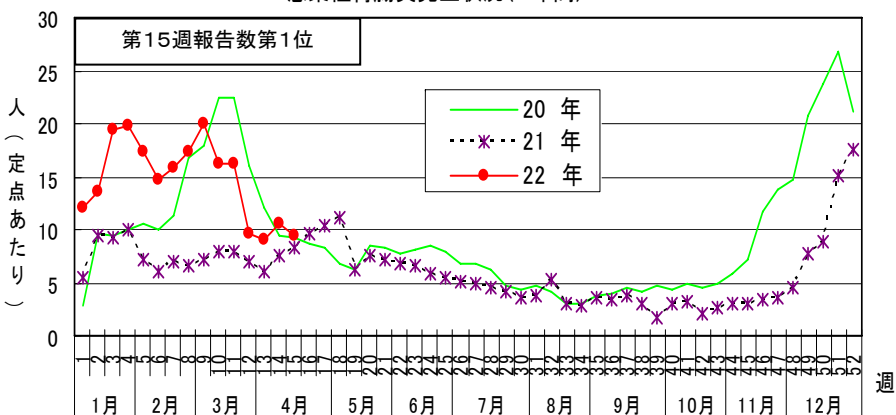
平成22年4月12日（月）～4月18日（日）〔平成22年第15週〕の感染症発生状況

第15週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 水痘となっています。

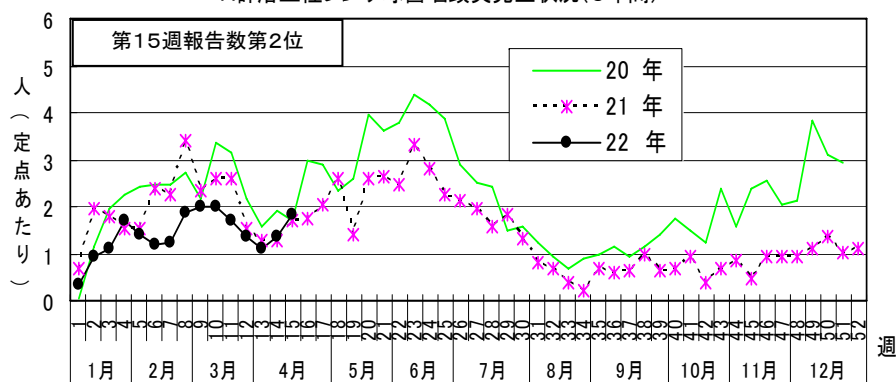
感染性胃腸炎が定点あたり9.69人と前週（10.50人）に比較して患者数は減少しました。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点あたり1.88人で前週（1.38人）に比較して患者数は増加しました。水痘は定点あたり1.31人で4週連続して患者数は減少（前週1.94人）しております。

ウイルス性肝炎の届出が1件（推定感染原因：針等の鋭利なものの刺入による感染、推定感染地域：神奈川県）ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## ～海外旅行で気をつけたい感染症（食べ物編）～

今年のゴールデンウィークに海外旅行を計画している方も多いと思います。「言葉の通じにくい海外で感染症になってしまった・・・」なんてことになると、せっかくの海外旅行が楽しくない思い出になってしまうかもしれません。

衛生状態の異なる海外で感染症にかからないためには、感染症に対する正しい知識を身につけることが重要です。食べ物からうつる病気には、腸チフス・パラチフス、赤痢、コレラ、A型肝炎などがあります。下痢を起こすものが主ですが、A型肝炎（倦怠感・黄疸）のように下痢が主症状でない感染症もあります。一般的な注意点をあげますので海外で注意してください。

①なま水を飲まない

※氷にも注意



海外で感染症にかからないために気をつけたいこと

③生野菜は避け、火を通したものを食べる。



②魚・肉類は火を通す



④果物は皮をむいたらすぐに食べましょう。時間の経過したカットフルーツなどに注意！



⑤乳製品・卵製品は痛みやすいので、衛生状態の悪いものや調理後時間の経過したものは避けましょう。



海外渡航する際の予防接種には二つの目的があります。

- ① 海外で感染症に感染することを予防するため
  - ② 入国時等に予防接種済証明書を要求する国があるため
- また、一種類のワクチンでも数回（2～3回）接種する必要があるものもあります。海外への旅行を思い立ったら早い時点で（できるだけ出発3か月以上前から）、予防接種機関や検疫所で、接種するワクチンの種類と接種日程の相談をしてください。

※右に示したグラフは国内のA型肝炎患者数をあらわしたものです。今年は例年に比較して報告数が多い状況にあります。A型肝炎を含め他の感染症についても、海外で感染しないように注意しましょう。

